

クワイ(慈姑)栽培工程 天然素材株式会社



くわいは、オモダカ科の水生多年草の塊茎（かいけい※）のことです。オモダカ科の多年生水生植物で、大きな芽が出ていることから「めでたい」と、正月料理などに用いられます。食べるころは地下にもぐって伸びる「ほふく茎」の先端が肥大してできる塊茎（かいけい）です。原産は中国でわが国には奈良時代に渡来したと言われています。越谷地区では江戸時代中期以降に低湿地である新方・荻島・出羽・蒲生でレンコンなどとともに盛んに栽培されるようになりました。出荷時期が11月から12月となり、収穫作業は厳寒のなかの手作業となるため、規模に限界があり栽培面積はやや減少しています。レンコンと同様に生育期間を通して水が必要であり、水の便が良く、土質が腐植に富んだ耕土で、肥沃な粘質土壌の深い湿田が、栽培に適しているとされている。

栽培・加工工程



苗作り(5月) 三週間芽がでる 2ヵ月これから切り 水田へ定植する(8月)
苗を取る



収穫(11月~1月) 根っこの先にクワイ 収穫後よく洗浄し工場へ



工場へは鮮度保持の為冷水に浸漬させ搬入し素早く皮むきし、ブラッシング洗浄されカットラインへ

▶ 天然素材では圃場の整備から栽培～加工まで一貫したシステム
で安心・安全なクワイをお届けいたします
天然に由来する素材を生かす



天然素材株式会社

本社:工場 大分県佐伯市西浜10834番地60 TEL0972-22-4151 FAX0972-22-4157 E-mail office@ten-nen.com